



2019/06/27

「JENESYS2019」中国高校生訪日団

学校交流プログラム実施報告

6月17日（月）に、外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」中国高校生訪日団学校交流を実施いたしましたので、ご報告をいたします。中国雲南省より、二つの高校（紅河ハニ族イ族自治州第一中学、元陽県第一中学）から、男女30名と先生3名が来校し、本校の生徒と1日、様々な交流をしました。今回は1、2年全クラスに2～3名の中国高校生が入り、本校の授業や清掃活動、部活動を体験しました。

授業風景



ランチ交流



清掃活動



部活動体験（茶道・女子バレー・男子バスケット）



Good Bye セレモニー





交流を終えて 1年男女

- ・うまく話せないこともあったが、最後にはもっと一緒に話したい！と思えるほど楽しかった。
- ・始めは緊張して心配だったけれど、楽しい時間を過ごせました。
- ・相手に沢山サポートをしてもらい、英語でコミュニケーションをとれ、良い経験となった。
- ・あまり話せず苦労した。英語の必要さを改めて感じた。
- ・とても楽しかった、またやりたい！
- ・中国の文化を知り、お互いにコミュニケーションをとれて良かった。今後も頑張りたい。
- ・文化や学校の特徴など様々なことを知ることができた。様々な方法を駆使して会話できたことがとてもうれしく、楽しかった。
- ・普通の学校生活で体験することができないことを体験できて良かった。
- ・今後もこのような機会があればやりたい、いい経験だった。
- ・最初は戸惑ったが互いに英語で会話できるようになった。日本人ももっと話せるといい。
- ・今回の体験で、もっと英語を勉強して外国人と話したい。国境を越えた友人ができて嬉しい。
- ・英語や絵を使って話したのが楽しかった。好きな食べ物、動物を中国語で教わった。
- ・沢山写真を撮ってもらった。みんな真面目でいいです。魅力的な国、ぜひ行ってみたい。
- ・今まではニュースなどを見て、中国全体のイメージしかなかったが、当然ながら一人ひとりの考えや価値観を持っているのだと知った。自分が実際に見たり聞いたりすることで初めて理解できることが沢山あると学んだ。これからは人から聞いたことだけではなく、自分で経験し色々なことを学びたい。来年も機会があればバディとして参加したい。

セレモニー司会を務めて 2年女子

司会経験はなかったので少し不安でしたが楽しかったです。訪日団の方の学校紹介は、とても内容がわかりやすく、日本人にも伝わるように話してくださっていました。一番驚いたのは学校施設の大きさです。校舎はいくつもあり、図書館や運動施設などとても充実していました。人数も2000人を超え、色々な民族が集まっていると聞きました。文化の多様性を感じました。一日を通してバディや司会として積極的に参加して良かったと思いました。またこのような機会があればぜひ参加したいです！

訪日団の皆さん、ありがとうございました！

成瀬高校の皆さん、準備片付け、当日の臨機応変な対応、交流で得た友情、英語への情熱など素晴らしかったです！